

幼サンゴの加入状況調査について

平成29年9月

沖縄防衛局

○幼サンゴの加入状況調査

- ・普天間飛行場代替施設建設事業の実施区域周辺は、白化現象によるサンゴ類の生息範囲、被度が大きく減少し、サンゴ礁生態系の再生が望まれる海域であることに鑑み、実行可能な環境保全措置の検討のため、幼サンゴの加入状況調査を実施中(下記調査状況参照)。
- ・埋立工事施行区域内の14地点については調査を実施中であるが、同施行区域外の24地点については、海底面への人工着床具の設置に伴い、県知事からの公共用財産使用許可が必須となることから、現在、沖縄県と協議を行っているところ(図2)。
- ・このため、当該公共用財産使用許可が得られるまでの間、埋立工事施行区域内の14箇所のみにおいて調査を継続。
- ・事務局としては、人工着床具の設置の必要性について、沖縄県に対し丁寧に説明するなど、当該公共用財産使用許可が得られるよう努力することとし、同許可が得られ次第、速やかに埋立工事施行区域外の24地点の人工着床具を設置し、おおむね3か月ごとに、幼サンゴの着床・成長度合いについて潜水目視及び水中カメラ等による調査を実施予定。

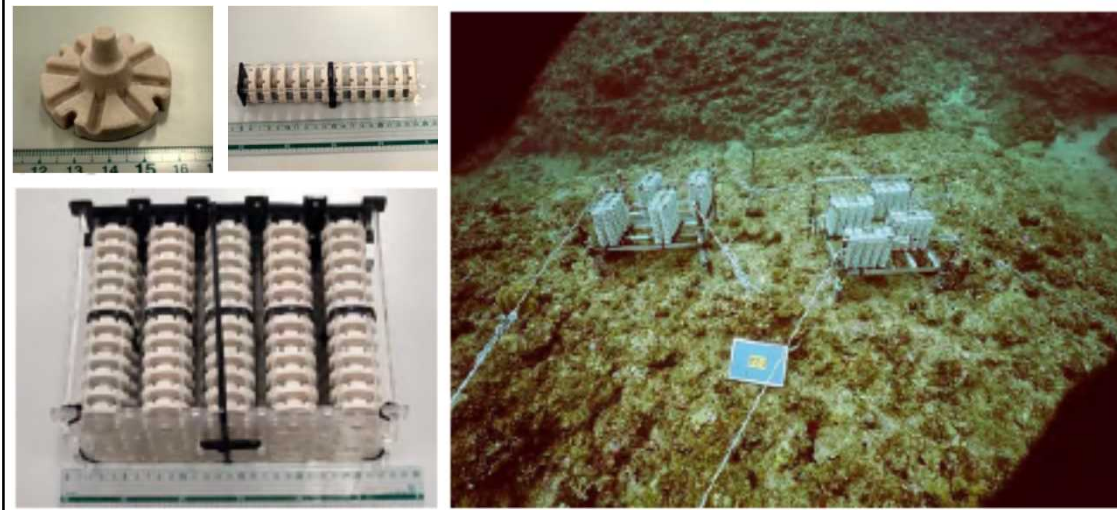


図1:人工着床具

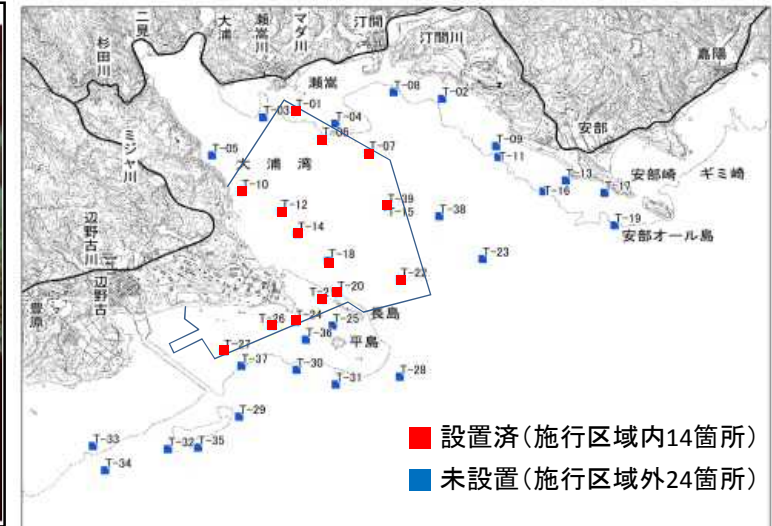


図2:人工着床具設置箇所

【調査状況】

調査箇所 : 施行区域内の14箇所 (5月22日から25日までに人工着床具を設置)

調査実施日 : 平成29年8月25日、28日及び29日

調査結果 : 潜水目視及び接写可能な水中カメラによる観察を行った結果、着床している幼サンゴは確認されず。